

	<h2>中里郷土の森に新たなビオトープが完成！ ～練馬みどりの葉っぱい基金の寄付金を活用～</h2>
と き	令和4年3月26日（土）から公開
ところ	区立中里郷土の森（大泉町1-51-2）
<p>区立中里郷土の森では26日、練馬みどりの葉っぱい基金「中里郷土の森プロジェクト」への寄付金を活用して、生物の生息空間であるビオトープとして新たな池を設置・公開した。</p> <p>これまで園内には、ヘイケボタルの生息環境として日陰に池と小川があったが、新たに日向にも池を設置。これまで見ることのできなかったシオカラトンボやハイロゲンゴロウなどの水生昆虫の誘致を行えるようにした。また、野鳥の水浴びを誘致するための浅瀬を作り、森の講習棟内から野鳥の様子を間近で観察できるようにした。</p> <p>今後は、白子川流域の水生植物の植栽を行い、ビオトープの環境を充実させていく。</p> <p>園内の森の学習棟に常駐する自然解説員は、「環境を整えることで、月日とともに自然と生き物たちがやってきます。ビオトープの様子が変わっていく様子をリアルタイムで見てもらえれば。」と話している。</p> <p>今回のビオトープの完成を記念して、4月2日（土）、3日（日）には、池に集まる生き物について、自然解説員によるミニトークを実施する。</p>	



▲ビオトープの様子

【寄付実績】

練馬みどりの葉っぱい基金「中里郷土の森プロジェクト」

目標金額：1,000,000円

件数：52件

金額：1,231,669円

達成率：123.17%

※寄付の受付は、令和3年4月30日をもって終了。

【練馬みどりの葉っぱい基金について】

区内のみどりの保護と回復を目的として平成16年10月に設置した基金。

令和元年12月にリニューアルし、これまでどおり練馬のみどり全般への寄付に加え、複数のコースから寄付先を選べるようになった。

【活用実績】

平成28年度 清水山憩いの森の取得に約2億円を活用

令和3年度 四季の香ローズガーデンのリニューアルに約360万円を活用

中里郷土の森の生き物と呼ぶ環境づくり・展示の充実に約120万円を活用

【自然解説員によるミニトーク】

日時：4月2日（土）、3日（日）10:00～11:00 ※申込み不要

場所：区立中里郷土の森 森の学習棟

【区立中里郷土の森について】

100年以上前からある貴重な屋敷林を活かした約2,500㎡の緑地。練馬のみどりや生き物と直接触れ合いながら学べる体験型施設として平成29年3月に開園。園内の「森の学習棟」では、常駐の自然解説員による様々な体験型プログラムを毎週日曜日に実施している。

【問い合わせ】練馬区 みどり推進課 施設係

電話 03-5984-1664